

【産直用】令和8年度 さくらんぼ 防 除 日 誌

J A 庄 内 た が わ
園 芸 特 産 課
TEL 0235-64-5831

防除暦を遵守して2026年産さくらんぼを生産し、その内容を全て下記に記入して報告します。

生産工程管理記帳運動

支 所 名			組合員コード		
住 所	山形県				
氏 名					
電話番号	023 — —				
作付面積	a		収穫始め	月	日
ほ 場 数	ヶ所		収穫終わり予定日	月	日

JA確認印	備考
㊟	
㊟	

【病 害 虫 防 除 計 画】								防 除 記 入 欄		
回数	散布時期	対象病害虫	使用薬剤	希釈倍率	収穫前日数	使用回数(以内)	10a当たり散布薬量	使用確認欄	散布月日	※防除計画と相違がある場合のみ、使用薬剤名・希釈倍率・収穫前日数を記入すること
1	発芽前	カイガラムシ類	スプレーオイル またはハーベストオイル	50倍	発芽前	—	350 ℓ	☐	/	
		カイガラムシ類、ハダニ類 越冬病害虫	石灰硫黄合剤	10倍	発芽前	—		☐		
2	開花直前 (風船状態はしりの花が 数個咲いた時)	褐色せん孔病、炭疽病 灰星病、幼果菌核病	トレノックスフロアブル	500倍	21日前まで	2	400 ℓ	☐	/	
		ハマキムシ類	バイオマックスDF	2,000倍	発生初期 但し 収穫前日まで	—		☐		
3	満開期(8割咲いた 状態を満開と見る)	灰星病、せん孔病 幼果菌核病	トップジンM水和剤	1,500倍	14日前まで	3	500 ℓ	☐	/	
4	満開3日後	灰星病、炭疽病、褐色せん孔病 幼果菌核病、黒斑病	ナリアWDG	2,000倍	前日まで	3	500 ℓ	☐	/	
5	5月上旬 (満開10日 ～15日後)	灰星病、炭疽病、 褐色せん孔病	オーソサイド水和剤80	800倍	3日前まで	5	500 ℓ	☐	/	
6	5月中旬	カイガラムシ類、カメムシ類 オウトウショウジョウバエ	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	2,000倍	前日まで	1	500 ℓ	☐	/	
		灰星病	スコア顆粒水和剤	2,000倍	前日まで	3		☐		
7	5月下旬	ハダニ類	スターマイトフロアブル	2,000倍	前日まで	1	400 ℓ	☐	/	
		灰星病、幼果菌核病 褐色せん孔病	ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000倍	前日まで	3		☐		
8	6月上旬 (着色始期)	灰星病、幼果菌核病	インダーフロアブル	5,000倍	前日まで	2	400 ℓ	☐	/	
		オウトウショウジョウバエ	ディアナWDG	10,000倍	前日まで	2		☐		
9	6月中旬	ハダニ類、カメムシ類、 ショウジョウバエ類	テルスターフロアブル(劇)	4,000倍	前日まで	2	400 ℓ	☐	/	
		灰星病、幼果菌核病	パレード15フロアブル	2,000倍	前日まで	2		☐		
10	6月下旬	灰星病、炭疽病 褐色せん孔病 幼果菌核病、黒斑病	ナリアWDG	2,000倍	前日まで	3	400 ℓ	☐	/	
		ケムシ類、 オウトウショウジョウバエ	エクシレルSE	2,500倍	前日まで	3		☐		
特別	7月上旬	灰星病、炭疽病、黒斑病、 褐色せん孔病	オンリーワンフロアブル	2,000倍	前日まで	3	400 ℓ	☐	/	
		ハダニ類、カメムシ類、 ショウジョウバエ類	テルスターフロアブル(劇)	4,000倍	前日まで	2		☐		
11	収穫直後	せん孔病	オキシラン水和剤	600倍	収穫終了後～ 落葉期まで	3	600 ℓ	☐	/	
12	7月中～下旬	褐色せん孔病、炭疽病 灰星病、幼果菌核病	トレノックスフロアブル	500倍	21日前まで	2	600 ℓ	☐	/	
		ハダニ類	マイトコーネフロアブル	1,000倍	14日前まで	1		☐		
13	8月上～中旬	せん孔病	ドキリンフロアブル	800倍	収穫終了後～ 落葉期まで	3	600 ℓ	☐	/	
		カイガラムシ類幼虫	アブロードフロアブル	1,000倍	7日前まで	2		☐		
14	9月上～中旬	褐色せん孔病 灰星病 樹脂細菌病	ICボルドー66D	40倍	発情前～ 発病初期	—	600 ℓ	☐	/	
15	休眠期	コスカシバ	ガットキラー乳剤	100倍	休眠期 (落葉前～ 萌芽前)	1	400 ℓ	☐	/	
16	11月上旬～ 12月上旬	褐色せん孔病 灰星病 樹脂細菌病	ICボルドー66D	40倍	発情前～ 発病初期	—	500 ℓ	☐	/	

※ 防除内容や施肥内容が、品種で違う場合は、その箇所に「佐藤錦のみ防除」「紅秀峰のみ防除」など、わかるように記入してください。